

●気持ちも新たに、平成4年第1回市議会に臨みました。

平成4年度の予算 2,600億円をどう有効に活用するかを決める重要な議会で、特に来年度は国、都ともにバブル経済の崩壊が影響して各種交付金も見直され本市にとってもかつてない厳しい年となりそうです。

そんな緊迫した中で開かれた**予算等審査特別委員会**では、まず昨年9月に一般質問でもふれたTAMAらいふ21（多摩東京移管 100周年）についてお伺いしました。

本市も3名の職員派遣、2億の負担、そして多摩地区全体で 200億円の予算を使う一大イベントが来年に迫っているのに本市の具体的対応が全然見えてこないでその程度の取り組みでよいのかと姿勢を問いました。また、本市縁の故鈴木信太郎画伯の遺品をお隣の町田市が一括購入しようとしている事実を指摘し、ご遺族は「八王子に残したい」というご意向があるのに美術館を持たない本市の悲哀をあらためて感じ「郷土の遺品が他の自治体のもになってしまうのならTAMAらいふ21で購入し、三多摩の文化財として共有したらどうか」と提案しました。

●学校教育費では小、中学校における国旗「日の丸」の掲揚について質問しました。

20年ぶりの金メダルで湧いたアルペールビルオリンピックでは、日本選手団の活躍に多くの国民が拍手を送ったことと思います。こういった事実を否定するかのように選手の振った国旗がカットされた政党新聞を校内で公然と読むような一部の教師に、何の権利があって「日の丸のある式には子供達を出席させない」などという事ができるのでしょうか？

私は国粹主義者でもなければ過去の悲しい歴史も十分にふまえた上で、今日の民主主義社会の中にあって、もはや日の丸＝軍国主義などという考えは通用しないと思うのです。「これから世界を舞台に活躍する21世紀の子供達が、自国の旗に敬意を持ってなくて他国から尊敬される国際人になれるはずがない」と激論を交わしました。

●2月に長女が生まれ「ひかる」と名付けました。議員団から規約により初の第1子お祝いをいただきました。十数年前、議員団慶弔規約を決めた時「第1子なんてある訳ない」という多くの声の中、私のおふくろさんでもある**山田いと子前議長**が「いつかはそういう若い人も市政に参加してほしい」と願いをこめて留めた規約だそうです。感謝と責任を痛感しました。

●早いもので議会にお送りいただきもう一年です。決して満足のいく活動ではありませんでしたが、何とか議会のしくみがわかったようです。充実の2年目に向け全開でがんばります。

最後になりましたがおかげ様で波多野市長三選ありがとうございました。

八王子市議会議員 萩生田 光 一

平成4年4月吉日

〒192 八王子市暁町1-33-4 ☎46-3008・27-3233 FAX 28-2468